

CGS公開ワークショップ

グローバル研究 越境プロジェクト

(「グローバル化に伴う越境の実態調査と理論構築」)

- ◆日時 2010年3月8日(月) 13:00～17:00
- ◆場所 成城大学4号館3階 民俗学研究所会議室
- ◆発表
 - ・上杉富之(成城大学教授)
「グローバル研究」としての越境・接合・中間系の諸問題(仮題)
 - ・細谷広美(成蹊大学教授)
人権のグローバル化とシティズンシップの射程
ーペルーの真実和解委員会と先住民ー
 - ・工藤正子(京都女子大学准教授)
ムスリム女性の越境と居場所の構築
ー日本と英国のパキスタン系コミュニティの事例からー
 - ・松川祐子(成城大学准教授)
日系アメリカ人女性作家と時空の越境
ーKimiko HahnとPatricia Chaoの場合ー
- ◆ゲスト・スピーカー
 - ・長坂 格(広島大学大学院准教授)
越境フィリピン人コミュニティの現在(仮題)
ートランスナショナリズムの人類学ー
- ◆コメント
 - ・茨木 透(鳥取大学准教授)



CENTER FOR GLOBAL STUDIES
SEIJO UNIVERSITY

◆問い合わせ先

成城大学民俗学研究所グローバル研究センター

TEL: 03-3482-1497(内線787)

E-mail: glocalstudies@seijo.ac.jp

<http://www.seijo.ac.jp/research/glocal/index.html>